

町田市新たな学校づくり
基本計画検討会 報告書（案）
【南成瀬地区】

2023年〇月

南成瀬地区 新たな学校づくり基本計画検討会

1 新たな学校づくりの概要について

南成瀬地区の新たな学校づくりを検討するにあたり、町田市教育委員会における新たな学校づくりのイメージを共有しながら検討する必要があったため、以下の内容を踏まえながら意見交換を実施しました。

(1) 南成瀬地区統合対象校の概要及び統合後の想定児童数・学級数について

■南第二小学校（築43年）



①児童数(学級数)

通常学級	2021	2030	2040
児童数	322	255	223
学級数	12	12	12

特別支援学級(2021)	知的
児童数	22
学級数	3

②学校の主な変遷

1947年：南第二小学校開校
 (1873年成高学舎開校-成瀬学校-南村尋常小学校-南第二国民学校-南第二小学校)

■南成瀬小学校（築41年）



①児童数(学級数)

通常学級	2021	2030	2040
児童数	350	222	214
学級数	12	11	11

②学校の主な変遷

1980年：南成瀬小学校開校
 (南第二小学校の一部児童転入)

■南成瀬地区統合新設校 想定児童数・学級数

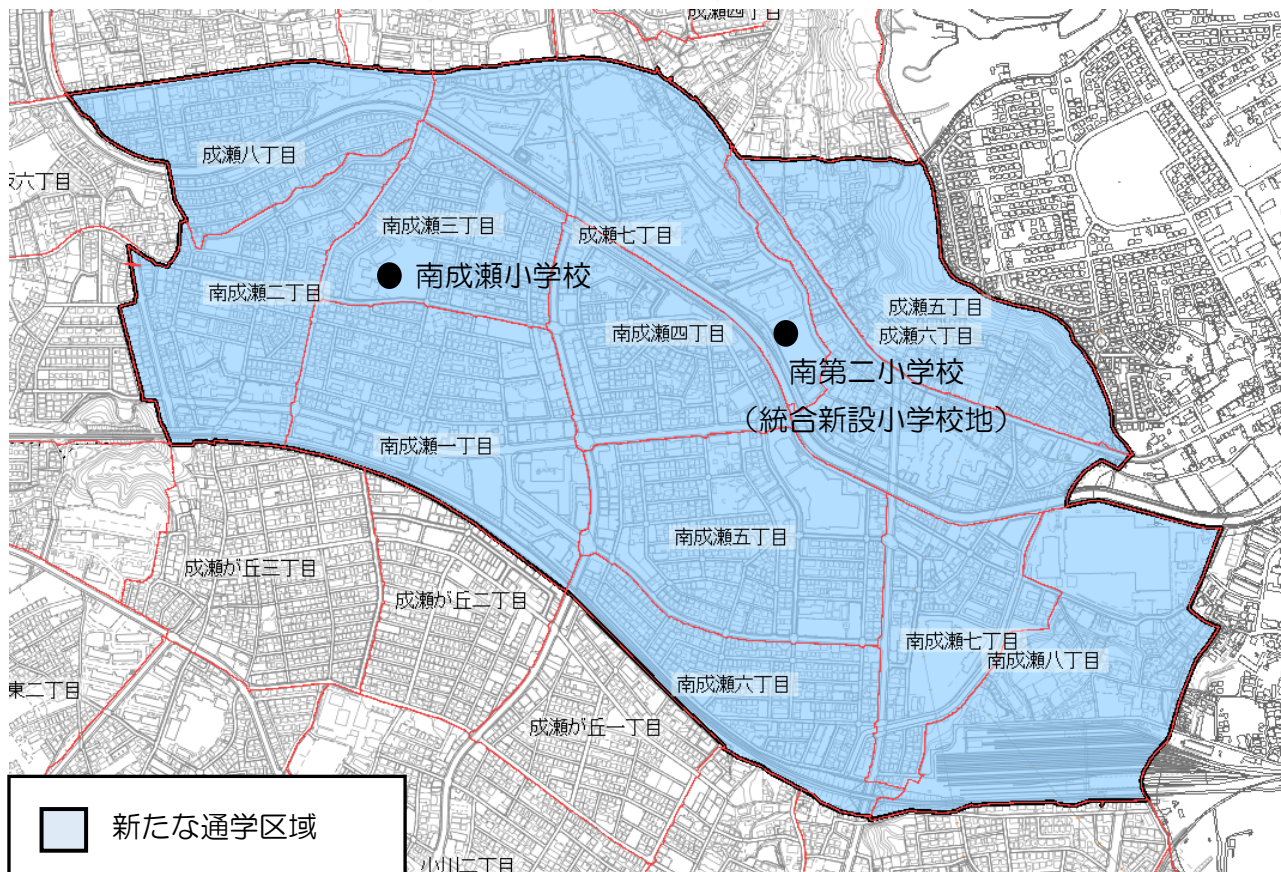
※特別支援学級(知的)配置を想定

通常学級	2028	2030	2040
児童数	595	566	514
学級数	18	18	18

(2) 統合スケジュール

対象	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
南二小	既存校舎	統合	新校舎建設	新校舎建設	新校舎建設	☆新校舎使用	☆新校舎使用
南成瀬小	既存校舎	統合	既存校舎	既存校舎	既存校舎	引越	引越

(3) 新たな通学区域図 (成瀬 5~8 丁目・南成瀬 1~8 丁目)



(4) 学校候補地となる現南第二小学校の校地状況について



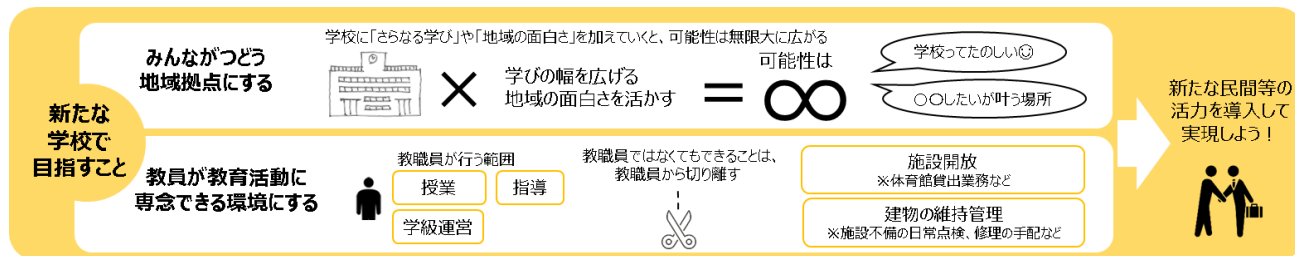
【計画地の特徴】

- 恩田川沿いの桜並木、成瀬山吹特別緑地保全地区等の里山に囲まれた環境
- 旧鎌倉街道沿いの地神塔等、周囲に史跡が点在
- 学校に近接して市立総合体育館



(5) 新たな学校の運用体制（地域施設としての新たな学校）について

〈図〉新たな学校で目指すこと



- 基本計画検討会における検討内容
 - ・ 新たな学校への歴史の継承について
 - ・ 新たな学校の育てたい子ども像について
 - ・ 新たな学校の校歌・校章について

9 新たな学校への歴史の継承について

南成瀬地区の新しい学校においても、各校の教育活動などに関わっていただいている方々や地域の方々に愛着をもっていただき、引き続き、南成瀬地区の子どもたちの教育活動にご協力いただけるよう、各校の歴史や想いの継承について意見交換したので報告します。

(1) 検討会における物品・活動等の検討項目及び方針

□南第二小学校

分類		継承・保存・引き取り方法
1 卒業制作・ 校名板・ 校旗・ 校章・ 記念冊子	第99回卒業生 校歌	デジタル保存 卒業生へ返却を検討 (資料館として保存の可能性を 検討)
	第103回卒業生 木彫り画	
	第106回卒業生 木彫り枠の鑑	
	第108回卒業生 詩の木彫り	
	平成7年度六年生 布絵	
	平成11年度六年生 校歌	
	平成24年度卒業生 道案内の柱	
	2017年卒業生 モザイクタイル画	
	2018年度卒業生 COSMOS	
2019年度制作 鳥の画		
室名札		
2 記念碑	百周年記念碑	施設配置を考慮したうえで継承 方法を検討
	二宮金次郎像	
	旧校舎校門石柱	デジタル保存
	日時計	
正門の石の表札		
3 記念樹	楓の木	施設配置を考慮し、挿し木や新 たに植樹を検討
4 展示物	校歌	設置場所を考慮し移設を検討
	和而不同 文部大臣 奥野誠亮	デジタル保存
	歴代校長写真	
	歴代PTA会長名	
	航空写真	
	レイ・チャールズ写真	教育活動で利用できるものは継 承、他はデジタル保存
	展示室(農具)	
展示室(学校年表、昔の写真)		
展示室(資料)		
5 教育活動・ 学校行事	かえでフェスティバル	両校で検討
	異学年交流・学年を超えた行事	
	こどもの国遠足	
	ソーラン節	
	マラソン大会	
	畑作業	
	会社活動	
	発表会	
	作品展	
6 地域活動 ・地域行事	わいわいランド	地域団体の円滑な合流・連携
7 その他	総合体育館での球技大会	両校で検討
	フレンズでの卒業を祝う会	
	まなびや	
	給食の歌	地区としての歴史継承
	150年の歴史	
	校風(おおらか、穏やか、のびのび 和気あいあい、素朴な地域性)	
タイムカプセル	新たな学校で保管	

□南成瀬小学校

分類		継承・保存・引き取り方法
1 卒業制作・ 校名板・ 校旗・ 校章・ 記念冊子	第1回(昭和55年度)卒業制作	デジタル保存 卒業生へ返却を検討 (資料館として保存の可能性を 検討)
	第2回卒業生 校歌	
	第4回卒業生 鳥のモザイク画	
	第6回卒業生 木彫り	
	第8回卒業制作 学年リレー	
	第12回卒業生 彫物 銀板	
	第15回卒業生 組合せ画	
	モザイク画	
	模様画	
	木彫り	
	校歌	
	手洗い場(屋外)	
	動物像(屋外)	
室名札		
2 記念碑		
3 記念樹		
4 展示物	歴代校長写真	デジタル保存
	職員集合写真	
	航空写真	
	感謝状	
	40th デイビースふわりの家寄贈	
校歌(作詞家直筆)	設置場所を考慮し移設を検討	
5 教育活動 ・学校行事	縦割り活動	両校で検討
	全校遠足	
	成瀬まつり・ソーラン節	
	農業体験・販売	
	畑活動	
	音楽集会	
	マラソン大会(ランなる)	
	縄跳び週間(短縄、長縄)	
	あいさつ運動	
	コミュニケーション教室	
	ヤゴ救出大作戦	
	地域の方々を招いての授業	
	図書活動	
キャラクター(なるせみ)		
ポッチャ(オリバラ教育)		
成瀬音頭		
もちつき大会		
6 地域活動 ・地域行事	地元との交流	地域団体の円滑な合流・連携
	南成瀬中・成瀬高校との関わり	
7 その他	タイムカプセル	新たな学校で保管

(2) 基本計画検討会での意見内容

分類	意見
1 卒業制作・ 校名板・ 校旗・校章・ 記念冊子	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を残して廃棄した事例がある ・卒業制作は引き継がなくてもよい(一部の年度しか残っていない) ・卒業制作を卒業生に戻すのはよいアイデア(年度によっては取りにくるかもしれない) ・開校の前年が150周年記念となるため、記念誌を周年記念と廃校記念で合わせられないか(統合年度は何かと忙しい/前年に終わらせる)
2 記念碑	<ul style="list-style-type: none"> ・何でも残せばよいというものではない(2校分残ると新しい学校のスペースが足りなくなる) ・日時計は引き継がなくてよい ・門柱は横にし形を変えても残したい(除幕式した) ・百周年記念碑、二宮金次郎像は残したい
3 記念樹	<ul style="list-style-type: none"> ・楓の木は校舎配置による/校舎の環境が優先 ・現在の木を押し木し、他の場所に移す ・楓があれば、新しい木を植えてもよいのではないか
4 展示物	<ul style="list-style-type: none"> ・校長室のものは、校長が判断してよい ・教育活動に利用できる物(資料・農具等)を残す ・近隣の学校でも使える資料室があれば残すのもよい ・来客向けに飾れるものは残す ・写真類はデジタル保存でよい ・校歌の歌詞は残したい
5 教育活動・ 学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数が倍になる/先生の負担を考えるべき(保護者・市・地域の関わりを変えるべき) ・保護者や地域が関係する活動のすり合わせを両校で早く始めるべき ・学校行事については、両校長ですり合わせる必要がある ・両校で似た活動があれば継続 ・全校での遠足は児童数が増えると難しい(よりボランティアのサポートが必要) ・農業体験・販売は残したい(経験が大事) ・畑活動は残したい(地域は嬉しい) ・成瀬まつりは、新しい学校でも継続したい(5年生がソーラン節で出演している)
6 地域活動 ・地域行事	<ul style="list-style-type: none"> ・第二青少年健は両校に関わっているので継続
7 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・校歌を歌った録音を残す ・校舎の映像(3D等)や校歌の録音を流せる仕組み ・校歌の著作権に配慮が必要 ・資料館がつくれるなら残す ・新しい学校で指導に使えるものは残す ・校名や位置は変わっても、地域の学校として150年以降の歴史を継続 ・南成瀬小があったことを残す物 ・タイムカプセルは学校で保管中

(3) 歴史の継承に向けて

上記の意見を踏まえた配慮や工夫をしていただくとともに、新しい学校の児童においても、統合校の歴史を感じられるような工夫を検討していただきたい。さらには、当時の学校のことを地域の方々も思い出せるような工夫をするなどして、地域の学校として愛着をもてるよう配慮をお願いしたい。

10 統合新設校における育てたい子ども像

南成瀬地区の統合新設校に通う子どもたちについて、どのような子どもに育てて欲しいか、これを実現する教育理念をどのようなものにするか、以下の南第二小学校・南成瀬小学校の教育目標と、町田市「学校づくり意見募集」調査報告書（南成瀬地区）の確認を行ったうえで、育てたい子ども像の検討を行いました。

(1) 南成瀬地区の小学校の教育目標

①南第二小学校

○元気な子

運動や健康・安全について その知識や基本的技能を身に付け、自己の課題とその解決に向けて思考・判断し、健康・安全な生活を目指して運動に親しもうとする子「実践力」

○やさしい子

道徳的価値を理解し、道徳的な判断力を身に付け、道徳的心情、実践意欲と態度をもった子「人間関係形成力」

◎考える子

基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付け、理解を更に深めたり広げたりし、自分から意欲的に学んだり活動しようとしたりする子「問題解決力」

②南成瀬小学校

これからの社会を切り拓くための資質・能力を身に付け、予測困難な時代に主体的に向き合い、自己肯定感をもち人生をより豊かなものにする力を育み、持続可能な社会の創り手となる児童を育成する。

○よく考える子

自ら課題を見付け、考え、判断し表現する子「課題解決力」

○力を合わせる子

自他共に人格と生命を尊重し相手を思いやる子「人間関係形成力」

○健康な子

心も体も健康で粘り強く取り組む子「実践力」

(2) 検討会における委員の意見

- 元気で明るく健康に過ごせると良い
- よく学び、よく遊ぶ子
- 気持ちの豊かな子
- 挨拶がしっかりできる子
- 何事も、一生懸命取り組める子
- よく考えて、まず実行してみる子
- 全ての事柄に対して疑問を持ち、自ら考えて行動できる子
- 間違ったことを間違っていると言える子
- 進んでリーダーになる子
- 目的のために仲間と一緒に進んでいく子
- みんなでまとまって同じ行動ができる子
- 相手を思いやる子
- 人の気持ち・痛みが分かる子
- 上下関係が理解できるようになってほしい
- 個人を尊重しながらお互いに助け合う子
- 相手を寛容的に受け入れて、認め合える、広い考えを持てる子
- みんなが参加できる、楽しめるようなことを自発的に考えられる集団に育ててほしい
- 自分にうそをつかない子
- 自分を大切に、人を大切に、物を大切に、自然を大切にできる子
- 正直に生きてほしい
- 人の言葉に動じないでほしい
- 好きなことをしてほしい
- 困ったことがあったときに他人に頼るなど問題解決能力を身につけてほしい
- ルールを守れる子
- 人の言うことが聞ける子
- 教えてくれる人の意見が聞ける子
- 自分一人で生まれてきたのではないということが分かる子
- 親がどんな気持ちで育ててきているかが分かる子
- 元気に伸び伸びと学べる学校、またそれを地域が見守っていけるような雰囲気
- 学校は人生をいかに楽しくするかを学ぶ場所であってほしい
- 親が心穏やかな環境をつくるのが小学校生活で大事なことだと思う

(3) 統合新設校の教育目標策定に向けて

検討会では、(2)のように、一生懸命取り組むなどの主体性や、みんなが参加できる、みんな仲良くといった協調性の視点や、自分を大切にする、相手を思いやるといった道徳心、明るく元気な子といった子どもの健康や学校生活に対する意見が挙がりました。

今後、両校の学校長には、これらの意見や意見募集の内容を踏まえ、南成瀬地区の統合新設校における教育目標を考えていただきたい。

1 3 新たな学校の校歌・校章について

南成瀬地区の新たな学校の校歌・校章について、新たな学校に通う子どもたちの円滑な合流の実現の観点から校歌・校章の作成時期や方法について意見交換しましたので報告します。

(1) 校歌

①作成時期

- ・統合前に作成することで統合の 2025 年度からいいスタートが切れるのではないか。
- ・校歌に関しては統合する前の段階で、初めての共同作業のような形式で校歌をつくり上げて一緒に校舎になったときに初めてみんなで一緒に歌うのがいいのでは。
- ・入学式や卒業式の際に無いのはいいのかなと思う。大事な入学式、卒業式をするのに当たって、そこまではしっかりと決めてあげたほうがいいのではないか。

②作成方法

- ・歌詞は、地域の方などからの公募でできると思う。
- ・作曲に関しては、専門家に依頼するしかないのでは。
- ・歌詞に関しては、各校の子どもたちからいろいろな歌詞を学校の先生とか音楽の先生を交えて学校側で決めていくのがいいのではないか。
- ・校歌をホームページ等にも載せられように、著作権などにも配慮して作成するのが良いのでは。
- ・著作権を考えると、有名な方よりも、作曲活動を一身に頑張っている若手の人たちに委託するというのも面白い案だと思った。
- ・作成した実績のある専門家を選んで作ってもらうのがいいと思う。

(2) 校章

①作成時期

- ・統合前に作成することで統合の 2025 年度からいいスタートが切れるのではないか。
- ・新しい校舎ができたときに校章ができているといいと思う。
- ・統合後に公募や授業の時間を使いながら、みんなで考える最初の作品にしてもいいと思う。
- ・統合時に無いといけないというものではないと思い、統合後初めての卒業生が卒業制作で新しい校章をモチーフに何かを作成するなどの可能性が広がると思う。
- ・入学式や卒業式の際に無いのはいいのかなと思う。大事な入学式、卒業式をするのに当たって、そこまではしっかりと決めてあげたほうがいいのではないか。

②作成方法

- ・統合後に決めるのであれば統合した年の4月とかに子どもがデザインして、美術の先生にデザインを直してもらって決めるのは楽しいかなと思う。
- ・統合前に決めるのであれば、公募がいいかなと思う。

(3) 校歌・校章の作成に向けて

統合後の学校生活に支障がないように校歌・校章を作成していただきたい。

また、作成にあたっては、子どもたちや地域の想いを大切にしながら、児童や地域の方が愛着を持てる統合新設校にふさわしい校歌・校章を作成していただきたい。

(参考) 他自治体等における作成方法事例

作成方法	内容
公募	市の広報や学校だよりなどで公募し、選考会などで選定
児童の案	児童の案を元に先生や専門家が修補、選考会などで選定
地域に縁のある人に依頼	町田市や地域に在住または出身の方に依頼
地域の大学等と連携	地域の大学と協力して作成。
学校の先生による作成	統合する学校同士または統合新設校の音楽や国語、図工の先生などに作成を依頼
専門家に依頼	作詞家や作曲家、デザイナーに依頼